

主 文

本件各再上告を棄却する。

理 由

被告人 A 及び同 B の各再上告趣意について。右はいずれも刑訴応急措置法一七条所定の再上告の適法な理由とならない。よつて、刑訴施行法二条、旧刑訴四四六条に従い、全裁判官一致の意見により主文のとおり判決する。

検察官 岡琢郎関与

昭和二六年一〇月二六日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	栗	山	茂
裁判官	小	谷	勝 重
裁判官	藤	田	八 郎
裁判官	谷	村	唯 一 郎